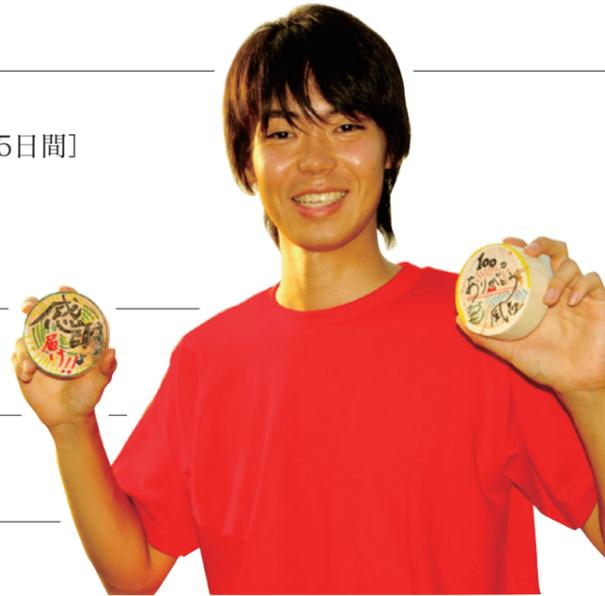


廣山敬士 (ひろやま・たかや)

静岡大学 農学部 環境森林学科 3年

インターン先：株式会社熊野古道おわせ

実施期間：平成25年8月7日(水)～8月31日(土) [25日間]



プロジェクトの社会的背景

間伐材利用や人に感謝の気持ちを伝えるきっかけを作る。

プロジェクトの目的

間伐材利用や人に感謝の気持ちを伝えるという行為を増やす。

プロジェクトの概要

47都道府県一斉開催を目指し情報発信、広報活動を行う

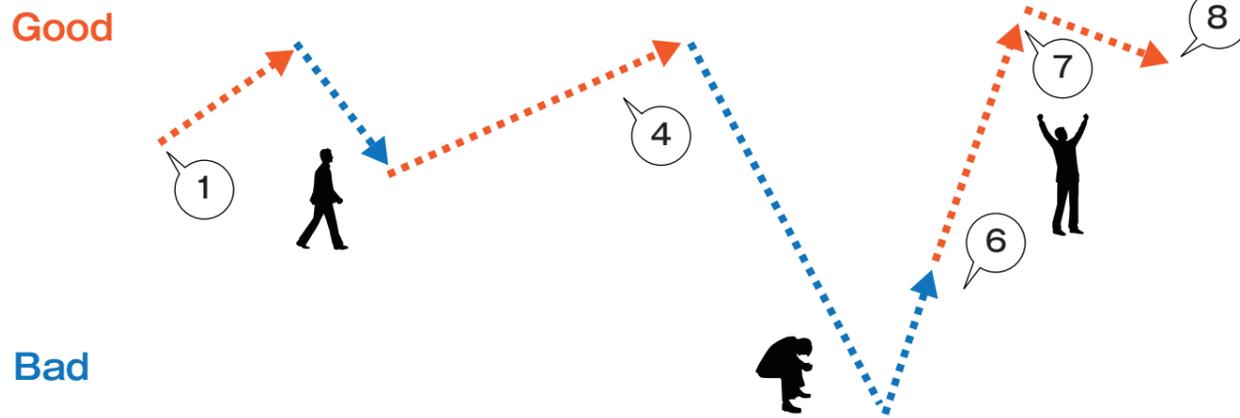
プロジェクト開始当初の目標

100のありがとう風呂47都道府県一斉開催が目標

プロジェクトにおけるあなたの役割

インターネットで尾鷲の魅力を発信。staffへの森林啓発活動

モチベーション (成功と挫折) グラフ



主な業務内容

8月7日	8月18日	8月31日
ブログ更新 ・ブログの頻繁な更新を行う ・閲覧者数の増大を目指す ・認知度拡大を目指す	写真/動画の編集 ・文章だけでなく目で見てわかるモノを制作する ・閲覧者や「いいね!」を獲得する	尾鷲の魅力発信 ・全国的にあまり知られていない尾鷲のよいところを文章と写真や動画でまとめていく
森林レクチャー ・日本の森林の問題や改善点を話し合う ・みんなの意識改革をうながす	ムービー制作 ・100のありがとう風呂ができるまでの映像制作を行った ・全国発信し知名度を上げる	



自分の大学3年生の夏休みの3週間を使った意味があったのか? をたくさんの人と話し整理しました。

社会人との関わりはインターンでの大きな利点ですが、高校生等とコミュニケーションをとることで学ぶ事が多いと思いました。

顔の見えない相手とのやり取りに違和感を覚えました。そのことで自分の事が少し見えたような気がしました。

100のありがとう風呂に対して意味を考えたり、目標を追求していくことに意識を持つようになりました。

情報共有の難しさに直面しました。ヒノキの加工にも携わり、加工の楽しさも実感しました。

staffとのコミュニケーションに不安がありました。

大学では林業を学んでいたが、『100のありがとう風呂』プロジェクトを通じて机上の議論では学ぶことができないことを学べ、経験できると考えた。